

会社	会社名	イオン株式会社		
概要	従業員数	330名（2016年2月末現在）	業種	純粋持株会社

1. ねらい

- 「アジアで一番入社したい、一番働きやすい、働きがいのある会社」を実現する

2. 施策内容と実績

- ◆ 各種ダイバーシティ、ワーク・ライフ・バランス施策の実施
- ◆ 上記を推進するための意識改革

(1) イオングループ共通の取り組み

1) 管理職の意識改革

①国内グループ企業の管理職を対象にセミナーを開催

管理職が先頭に立ってダイバーシティ、ワーク・ライフ・バランスを推進する体制を構築するため、全国約30拠点のイオンシネマ（映画館）を活用してセミナー（ダイ満足カレッジ）を開催、多様な人材の活躍や、ワーク・ライフ・バランスについて継続的に学ぶ機会を設けている。2016年度第1回の開催には1300名以上の管理職が参加

②イクボス企業同盟へ加盟し、イクボス宣言を実施

2015年6月、イオン㈱と㈱ダイエーがイクボス企業同盟加盟とイクボス宣言を実施したことを皮切りに、グループ各社へ加盟・宣言の輪を拡大し、2016年3月時点でグループ10社が加盟。イクボスセミナーを開催し、意識改革を進めるとともに、2016年度はイクボス検定制度を導入し、管理職に対して実施予定

(2) イオン㈱の取り組み

1) ワーク・ライフ・バランスや多様な働き方に対する従業員の理解を深めるための研修

ハラスメント・ダイバーシティ等をテーマにした「行動規範・人権研修」の開催

2) 分科会を通じた働き方改革の取組み

4つの分科会（①帰ろう会、②休もう会、③育てよう会、④ケアしよう会）を立ち上げ、自主的運営により活動を開始、各分科会の目標を公表し、行動計画を各分科会で議論し、実践

3) 所定外労働時間の削減取組み

18時15分の全館消灯及び、18時30分のエレベーター停止ルール継続実施。また、部署別・個人別の労働時間進捗管理と、安全衛生委員会での確認・対応策の検討を実施

4) 子ども参観日の定例実施

次世代育成、親子が触れ合う機会の創出、仕事と家庭の両立を目的とし、従業員の子供が親の職場を訪れ、仕事を体験する「子ども参観日」を2007年より継続実施。2015年度は、グループ企業17社合同で、子ども150名とその親110名の合計260名が参加

5) 年次有給休暇取得促進

2015年度より年次有給休暇の計画付与を5日から7日に変更、また、部署別・個人別の取得状況の進捗管理を実施、安全衛生委員会での確認を通じた取得促進を実施